

できることから始めよう!



城陽環境パートナーシップ会議

# 城陽エコパートナー通信

Vol.61

発行日：平成 31 年(2019 年)4 月 3 日  
会員数：292 人 (3 月 31 日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議  
(事務局) Tel(56)4061 Fax (56)3999

(ジョウヨウ エコ チョイス)

## 毎月のエコ活動、賢い選択をご提案!Joyo Eco Choice!ができました!

ここ 100 年で日本の平均気温は約 1°C 上がりました。地球温暖化の大きな原因は CO<sub>2</sub> の排出です。環境に配慮していないモノ・コトを選んだことにより、家庭からの CO<sub>2</sub> 排出量が増えてしまっていたのです!そこで「COOL CHOICE」。「COOL CHOICE」とは、2030 年度に温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買替・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組みのことです。

これからは「次世代の暮らし方」を選んでいくことが CO<sub>2</sub> 排出を抑える力になるのでは。消灯、温度設定、節水など普段の行動に加え、車、家電、住宅など身の回りのモノを選ぶとき、これからの目線で選んでみませんか。小さな日常の選択かも知れませんが、積み上がって大きくなる。あなたが選び未来を変えましょう。

**Joyo Eco Choice** は、身近な生活の中で、未来のために今選択できる「アクション」を、月ごとに 5 つ掲げ、5 つのアクションの中からできることを「選択」し、ご家庭の生活の場面にあわせてお使いいただくものです。

①月ごとにエコ活動がどのくらいできたのか、家族でエコ活動の取り組み状況に○をしてくださいね。

②1 か月でも、1 年間でも何か月でもかまいませんので、取り組み状況を最終ページにあるハガキにて返信ください。返信いただいた方に記念品をプレゼントいたします。



## 「さんさんフェスタで省エネ診断をしました!」2月17日(日) 文化パーク城陽市民プラザ

さんさんフェスタは、たくさんの方が来場するイベントです。たくさんの方に、家庭でのエコライフの「今の状況」を知ってもらい、身近なところから取り組む省エネ活動を紹介し、できることから取り組んでいただく事、そして団体の活動紹介ができればと出展しました。

この日から「Joyo Eco Choice!」のお披露目を兼ね配布も行いました。

今回の省エネ診断の診断者数は 24 名でした。診断から次のようなことがわかりました。

①使っていない部屋の照明をこまめに消すこと、物を大切に長く使うこと、ごみの分別収集については、意識が高い。

②食器洗いで節水や、使う分だけお湯を沸かすこと、洗濯はまとめて行うこと、買い物袋を持参することについても、前向きに取り組んでいることが伺える。

③家庭において環境について話し合う機会が少ないようなので、「Joyo Eco Choice!」を活用いただけるよう更なる周知が必要である。

これからも、省エネ診断を実施し、身近なところから取り組める活動をご提案していきます。地球温暖化対策に資する「賢い選択」をするのも「次世代の暮らし方」を選ぶのも、皆さんです。





## 男のエコ料理教室を開催しました！ 1月19日(土) 場所：南部コミセン 料理実習室

冬の地球温暖化対策の一環として推進されているウォームビズ。ウォームビズはそんなにむずかしいものではありません。今までのライフスタイル(衣食住)を少し見直すだけで無駄になってしまうエネルギーを節約することができるというものです。

今回の料理教室では“食”のウォームビズをテーマに、寒い冬をあたたく過ごすひと工夫として体の中からあたためる料理、旬を意識した料理を紹介しました。今回使用した食材は運営委員が畑で栽培した野菜を使用しました。まさに「地産地消」で流通のエネルギーも減らしました。

今ではスーパーに行けば「旬」を感じることなく野菜を買うことができます。しかし野菜には「旬」があるのです。今の子どもたちは「旬の野菜」もわからないし、食事よりお菓子を好む傾向もあるようです。

近年、男性の方でも料理をされる方が増えてきました。食材の持っている栄養を知っていただき、健康でいきいきとお過ごしいただければと思います。  
(文：米田委員)



## 第4回自然観察会を開催しました！ 2月3日(日) 観察場所：古川流域

2月3日(日)に脇坂英弥氏と岡井勇樹氏(環境生物研究会)の2人を講師に迎え、今期4回目の自然観察会を古川流域で行いました(参加者は29名)。

観察会は、北部コミセンの駐車場からスタート。駐車場を出てすぐの植え込みの中でヒヨドリ、すぐ横の嫁付川の中洲周辺では、ケリ・モズ・スズメ・ツグミ・ハクセキレイを観察。

講師からおもしろいお話を聞きましたので4つほどご紹介します。①ヒバリが鳴くのはオス？オスもメスも？メス？ 答えオス(俺の縄張りだー!とさえずっているらしい) ②ケリは、この季節になると集団お見合いを始める。③スズメは、ほっぺにある黒い丸が大きいとモテルらしい。④アヒルはマガモを改良した家禽(かきん)である。

猛禽類が、激減していることが新聞等に報道されていますが、チョウゲンボウが久しぶりにこの観察会で確認することができました(講師によると、最近チョウゲンボウは、猛禽類から外れたとのことです)。また、九州で問題になっているミヤマカラスを初めて観察しました(城陽市にもいますよ)。帰路は清掃活動(ゴミ拾い)をしながら北部コミセンへ戻り、竹内委員による観察のまとめ、脇坂氏による観察会の振り返りを行い解散しました。観察会でいつも感心することは、講師の先生方が、1km先に飛んでいる鳥の姿を見て鳥の種類(名前) オス、メスの性別がわかることです。

古川流域での自然観察会で確認できた野鳥の種類は、2016・17年は34種類、2018年は31種類、今回の2019年は29種類を確認しました。確認できた野鳥の種類が少しずつ少なくなっているのが気がかりなことです。

2月の観察会は、環境が大きく変化する古川流域で毎年行っています。この環境の変化に敏感な野鳥達がどんな影響を受けるか非常に興味深い観察会の1つであり、今後も続けて開催する予定です。

(文：井手委員)





## エコバスツアーを開催しました！ 3月8日(金) 行き先：日吉ダム

出発後、会長の始まりの挨拶、引き続き小林委員の「防災編」「環境編」「省エネ編」クイズを実施、帰りのバスでは奥田委員の「日吉ダムおさらいクイズ」を実施しました。

参加された皆さんが、集合時間前には時間通りに誰一人遅れることなく集合し、事務局の手慣れた誘導も加わり、とてもスムーズなエコバスツアーでした。

今回の見学は、気持ちに余裕を持って環境施設を見学するという今までの見学とは違い、温暖化の進行が思ったよりも早く、温暖化と集中豪雨の因果関係はもはや疑うすべもなく、防災を含めた我々の生活に直結している切迫感が参加者の皆さんにもあり、近年の集中豪雨の多発を目の当たりにして、他人事では済まされないという緊張感が流れていました。

水の被害から住民を守るために作られた日吉ダムを説明されている方から、平成25年と昨年の集中豪雨の際の対応をお聞きし、より臨場感が増しました。ギリギリまで溜めに溜めた水を、限界水位に達した際に緊急放流をおこなうことは、とても難しいとのこと。参加者からも真剣な質問が次から次へと出ました。

十分に対応できる大きさのダムを造られたのでしょうか、自然は人間の英知をも超えた勢いで迫るということを知り、背筋が寒くなりました。しかも求められているのは、単に雨量を減らすだけでなく「気候変動」の名の通り、洪水の裏返し「渇水」が襲ってくることも十分考慮に入れなければなりません。

今我々に求められること、温暖化防止に向けて省エネ活動は当然ですが、知っていることをひとりでも多くの方に伝えることではないでしょうか。そういう観点から考えると、このエコバスツアー開催の意義は大きいです。  
(文：芦原副会長)



## マイボトルの推進〔その4〕 「給水機設置でペットボトル減を！」



写真1  
ロンドンの公園の給水器  
(グリーンピース)

### ■ロンドンが世界初「マイボトルフリー都市」へ

軽くて便利なペットボトルはリサイクル率が高いと言われていますが、実際は使用済みのプラごみとして海洋に大量に流れ込んでいます。その90%はリサイクルされていません。したがって、プラごみとして海洋に堆積し続けています。2030年にはプラごみ重量が魚貝類を超えると推定されています。日本と同じ海洋国のイギリスでは、来年からプラスチック製のストローや綿棒を禁止し、2042年までに使い捨てプラスチックを全廃する方針を出しています。さらに欧州議会でも、昨年10月に使い捨てプラスチック製品の使用を禁止する法案が可決されました(国際環境NGO グリーンピース・ジャパン)。

これからはリサイクル以上に、プラスチックの生産、使用を抑制する川上での対策が急務となります。海外では、ペットボトルやレジ袋などの使い捨てプラスチック製品の規制がはじまっています。

### ■ロンドンに無料給水器、市内に20機設置

イギリスに滞在してまず驚いたことは、1カ月間ペットボトルを一本も買わなくても不自由しなかったことです。日本では出先でのどが渇くと、自動販売機やコンビニなどで飲み物を買う以外に選択肢のないことが多い一方、ロンドンにはさまざまな場所に無料で使える給水器があります(写真1)。学生、主婦、会社員など、あらゆる人々が給水器を利用している姿が印象的でした。(グリーンピース・石原謙治氏、2018年)。

ロンドンでは公共の場で、誰もが無料で使える給水器を増やそうとしています(写真2)。この取り組みは「#OneLess キャンペーン」・「ロンドンを、世界初のペットボトルフリー都市にする」というビジョンを掲げ、ロンドン市長が宣言しています。五輪を控えた東京でも給水器の設置が進んでいます。  
(文：小林委員)



写真2  
ロンドン地下鉄の無料給水器

©一般社団法人JEAN

# イベント Information

お気軽にご参加ください！

洛タイ新報ホームページにおいて、当会議の中川宗孝運営委員執筆「ナチュラリストのフィールド日記」を連載中です。ぜひご覧ください！

## 自然学習会のご案内 ～チリメンモンスターって何!?～

きしわだ自然資料館で、大地のなりたちから現在の環境別の自然の様子や、チリメンジャコの中に混じっている「チリメンモンスター」などについて、専門家の詳しい解説を聞きながら学習します。

- 日時：平成31年4月21日(日) 10時集合・出発 17時解散
  - 行先：きしわだ自然資料館(大阪府岸和田市堺町) ※雨天決行
  - 対象：市内在住・在勤・在学の人(小学生以下は保護者同伴)
  - 定員：30名(先着順)
  - 集合場所：城陽市役所南玄関前駐車場
  - 講師：脇坂英弥氏(環境生物研究会)
  - 持ち物：筆記用具・昼食・水筒
  - 参加費：大人200円/中学生以下は無料(当日徴収)
- ※申・問：3月18日(月)から城陽環境パートナーシップ会議(環境課内)へ直接か電話(56-4061)



## 第1回自然観察会のご案内

5月のバードウィークに、木津川河川敷において野鳥観察を中心とする総合自然観察会を開催します。野鳥に関する楽しいお話や、植物についてのお話も聞けます。ぜひ、ご参加ください！

- 日時：平成31年5月12日(日) 9時集合・正午解散 ※雨天中止(判断しかねる場合は、当日午前8時30分から8時45分にお問い合わせください。)
  - 集合場所：山城大橋下 城陽市側 ●観察場所：木津川流域
  - 講師：脇坂英弥氏、岡井勇樹氏(環境生物研究会)
  - 対象：市内在住・在勤・在学の人 ●参加費：無料
  - 持ち物：筆記用具、水筒、タオル、帽子、双眼鏡、城陽生き物ハンドブック(お持ちの方)
- ※当日は動きやすい服装で、ご参加ください。  
※申・問：4月16日(火)から城陽環境パートナーシップ会議(環境課内)へ直接か電話(56-4061)



### ■夏の省エネを応援！ ゴーヤ苗を配布します

～ゴーヤでグリーンカーテンをつくらう～

- 配布日時：5月11日(土) 9時～正午  
※雨天決行(荒天中止)
- 場所：城陽旬菜市直売所(文化パルク城陽南側)
- 定員：先着200名(1人2苗)※なくなり次第終了

### ■第3回グリーンカーテンコンテスト開催！

今年、城陽市内で応募者が栽培に取り組みましたグリーンカーテンの写真を募集します！プロ・アマを問いません。応募サイズはA4サイズ(210mm×297mm)で、作品の応募は1人1点のみ。応募締切は9月5日(木)、郵送であれば当日消印有効です。  
★その他詳細は事務局にお問い合わせください。

### 東城陽ゴルフ倶楽部

〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山 1-48  
TEL : 0774-52-1161

### 日本観光ゴルフ株式会社

城陽カントリー倶楽部  
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山 1-46

### 星和電機株式会社

〒610-0192 京都府城陽市寺田新池 36  
TEL 0774-55-8181 FAX 0774-58-2034

### 株式会社玉井開発

〒610-0192 京都府宇治市広野町西裏 30番地 1  
TEL 0774-44-3351(代) FAX 0774-41-7007

### 次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ(株)大久保店、近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリーブロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、長池工業(株)、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、平安リネン工業(株)、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光  
※平成31年3月末現在(五十音順・敬称略)